

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
芸術・書道	1年(選択)	2	書 I（光村図書）	各種プリント
科目の概要と目標	古人の優れた書の臨書を通して様々な書的美を理解する。また、書論や芸術論を通して芸術に対する知識と理解を深め、書を通して楽しく自己表現ができるようになる。			
授業の進め方	DVD鑑賞や書の話などを交えながら、実技と鑑賞をバランスよく取り入れる。			
評価の観点と方法	作品の評価と共に、授業中の制作態度や練習量等、制作に取り組む熱意も評価する。臨書ノートや夏休みの展覧会鑑賞レポート、作品について書かれた制作カード、鑑賞文も、鑑賞力や書の理論の理解がどのように深まったかを評価する項目として、作品と同等に扱う。			
	学期	単元・学習項目		学習内容・到達度目標
年間の授業内容	1学期	<b>はじめに</b> ・書写から書道へ ・用具・用材を知る <b>楷書の古典</b> ・孔子廟堂碑 ・九成宮醴泉銘 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 ・牛橛造像記 <b>篆刻実習</b> ・大・小の印の制作 <b>展覧会鑑賞</b>		文房四宝の基本的な知識を身につける。  楷書の古典にも様々な用筆や書風があることを理解し、特徴をとらえて臨書することができる。  楷書の成立過程を確認し、それぞれの古典が書かれた時代背景について知る。  篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について知る。 手順を理解し、構想を練り、制作へつなげる。  展覧会で多彩な作品を鑑賞することで、書にも様々なジャンルがあることを知る。
	2学期	<b>創作</b> ・うちわに書く <b>行書の古典</b> ・集王聖教序 ・蘭亭序 ・風信帖 <b>仮名の書</b> ・平仮名、変体仮名、連綿 ・高野切第三種 ・三色紙 ・仮名の書の創作（カレンダー制作） <b>全日本高等学校書道コンクールへの出品作品完成</b>		1学期の楷書の古典をもとに学んだ書風や筆法を生かして生活の中で楽しめる作品作りをする。  楷書と行書の違いを理解する。 行書の古典にも様々な用筆や書風があることを理解し、特徴をとらえて臨書することができる。  仮名の基本線（直線・曲線・転折）について、それぞれの特徴を理解して書く。 それぞれの古筆の用筆や筆順、字形の特徴を理解し、臨書する。  平安時代の古筆を参考に、行の長短や高低、行間の広狭、紙面構成などを工夫している。
	3学期	<b>漢字仮名交じりの書の学習</b> ・心に響く言葉をパネルに書く <b>表具実習</b> ・書いた作品を表具しパネルに貼る  「響」展に全員出品		題材とする言葉のイメージをもとに、漢字と仮名を調和させて書く方法を知る。 創作の手順を理解し、作品の構想を練る。 創作例を参考にして、表現したいイメージを見つけ出し、紙面構成などに配慮して制作する。  表具の仕方を学び、自分の作品を自分で表具する。  制作した作品を鑑賞し、感じたことやわかったことを伝え合う。

教科・科目	対象学年	単位数	教科書(発行者)	補助教材(発行者)
芸術・書道	2年(文系選択)	1	書Ⅱ(教育図書)	各種プリント
科目の概要と目標	書道Ⅰで学んだ古典の臨書をもとに、更に臨書体験を深め様々な書之美を理解し、これらの書表現を創作活動に生かす。また、書論・芸術論を通して芸術への理解を深め、自己表現としての制作活動を目指す。			
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書の話などを交えながら、実技と鑑賞をバランスよく取り入れる。</li> <li>・教科書以外にも実際の道具、写真、作品集、専門誌等を使用しながら作品を鑑賞する。</li> </ul>			
評価の観点と方法	作品の評価と共に、授業中の制作態度や練習量等、制作に取り組む熱意も評価する。臨書ノートや夏休みの展覧会鑑賞レポート、制作カード、鑑賞文も、鑑賞力や書の理論の理解がどのように深まったかを評価する項目として、作品と同等に扱う。			
	学期	単元・学習項目	学習内容・到達度目標	
年間の授業内容	1学期	<b>篆書の古典</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泰山刻石</li> <li>・石鼓文</li> <li>・召尊</li> <li>・甲骨文</li> </ul> <b>篆書の創作(インテリア作品)</b>	甲骨文・金文・石刻文字・肉筆文字など、用いられた時代や用途によって様式に違いがあり、異なった趣を持っていることを理解する。 蔵鋒・直筆など小篆の用筆や字形を理解して表現できる。 篆書の用筆法を理解して楽しく創作することができる。	
	2学期	<b>隸書の古典</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曹全碑</li> <li>・乙瑛碑</li> <li>・石門頌</li> <li>・居延漢簡</li> </ul>	隸書の特徴である蔵鋒による起筆や水平垂直の構成、波磔・波勢、転折の特徴を確認し、臨書する。	
	3学期	<b>創作</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表札制作</li> </ul> <b>草書の古典</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十七帖</li> <li>・書譜</li> <li>・自叙帖</li> </ul> <b>創作</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真と書のコラボレーション</li> </ul> <b>全日本高等学校書道コンクールへの出品作品完成</b>	これまで学習した書体(楷書、行書、隸書)の中から好きな書体を選び、表札を制作する。 草書の字画の粗密、用筆のリズム感から生まれる躍動感や爽快感を感じ臨書する。 風景や物など自分で好きな写真を撮り、A4サイズでプリントアウトし、写真に合う言葉を書く。 写真に合う効果的な文字を考え、工夫して制作することができる。	
	3学期	<b>仮名の書</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関戸本古今集</li> </ul> 短冊、半壊紙作品制作	古筆には、紙面構成による独特の美があることを知り、墨継ぎや連綿、散らし書きなど仮名の伝統的な技法をいろいろ工夫して試しながら制作できる。	
	3学期	<b>掛軸作品制作</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>半切作品(35cm×135cm)</li> <li>題材 自由</li> <li>古典の臨書、漢文、漢字仮名交じりの書、仮名、自作の詩、等を書体・書風を工夫し、制作する。</li> <li>「響」展に全員出品</li> </ul>	制作のねらいを明確にして自分なりの自己表現を目指すことができる。	